

## 地球温暖化は待ったなし

群馬大教育学部 西園 大実 教授



—地球温暖化がもたらす身近な影響とは何でしょうか。

熱波の増加や記録的豪雨などが上げられます。特に暑さでは国内の上位を争う前橋市にとって、熱波の増加は熱中症患者を増加させる要因になります。

—すぐに温暖化対策に取り組まないといけないのでしょうか。

昨年夏の猛暑で、東京都での熱中症の死者は2000年の約10倍。こんなに増えるのは2100年ごろと予測されていました。いかに温暖化が急速に進んでいるか分かります。今のままでは2100年までに最大4℃程度上がると予測されています。人間が生きていく

には2℃以内に留めなければなりません。

—温暖化を防ぐ方法はあるのでしょうか。

温暖化を完全に防ぐことはできませんが、低炭素社会へと生活を変化させることで緩和することはできます。わたしは水力発電とバイオマス燃料など循環可能なエネルギーを活用した生活に注目しています。前橋市はこの2つを利用できる可能性が特に大きい。また、小水力発電などに積極的に取り組む市の姿勢も評価しています。

—低炭素社会の実現に向けてわたしたちができることは何でしょうか。

前橋市の節電計画などは市民や企業などでも活用できるので、多くの人に広まることを期待します。震災を機に、これまでのエネルギー消費のあり方が問われています。節電の動きは全員がエネルギーについてよく考え、省エネなどにも考えを広げるよい機会ではないでしょうか。市民や企業、行政が力を合わせて省エネを行い、また、新エネルギー利用に積極的に取り組むことで、低炭素社会の実現は十分可能なんです。

# 6月は環境月間 ECO市役所を目指して

6月は環境月間。地球温暖化などの環境問題に取り組むため、本市では省エネルギーや新エネルギーなどへの取り組みを積極的に行い、情報発信を行っています。また、これらに加えて、夏の節電計画を策定しました。節電も省エネに、そして、環境への取り組みにつながるもの。皆さんも一緒に取り組んでいきませんか。

問い合わせは 環境政策課 ☎898-6292



### 環境への取り組み

地球温暖化防止には省エネルギーと、化石燃料に替わる新たなエネルギー利用への取り組みが不可欠です。本市では、この2つについて積極的に取り組んでいきます。

#### ■省エネルギービジョン

2月に「前橋市地域省エネルギービジョン」を策定しました。これは市内の地域特性を把握し、省エネができる可能性を計ること、さらなる環境・エネルギー問題に取り組むためにまとめたものです。省エネの情報発信や普及促進地域リーダーの養成などを行い、市と地域が力を合わせて取り組んでいきます。

#### ■新エネルギーに注目

本市の豊かな自然環境を生かし、クリーンな自然エネルギーを利用する取り組みとして進めているのが小水力発電です。市内に3カ所あり、桃井小正門付近の矢田川に設置した小水力発電機では、作った電力を3月から電気自動車の充電に利用しています。このほか、住宅用太陽光発

電システムなどを設置しようとする人に助成を行っています。

#### ■環境パネル展

本市の環境への取り組みをパネルで展示しています。

期日 6月10日(金)まで

会場 市役所1階市民ロビー

### 市の施設の節電宣言

国は7月から9月までの平日午前9時から午後8時の電力使用量を前年から15%削減することを目標に掲げました。節電は省エネの第一歩。平成21年度から市の施設で「ECOプロジェクト」を実施し、ごみ削減や燃料節約、節電に取り組んできましたが、より一層取り組みを進めていきます。このため、7月1日(金)から9月22日(木)まで市の全施設で節電計画「楽しもう まえばしの夏・節電宣言」を推進します。内容は6ヶ下のとおり。市の全施設での電力使用量を前年から16%削減、特に市庁舎では25%削減を目標に環境に優しいECO市役所を目指します。

## 色鮮やかなアジサイが見ごろを迎えます



#### ■荻窪公園アジサイまつり

道の駅「赤城の恵」としてオープンした荻窪公園で、1万6,000本のアジサイが皆さんをお出迎え。だんべえ踊りや八木節演奏、スタンプラリー、EV試乗、物産販売などイベントが盛りだくさんです。

日時= 6月19日(日)午前10時~午後3時

問い合わせは 公園管理事務所 ☎210-2010

#### ■水質浄化センター一般開放

20種類の色とりどりのアジサイが咲き競う六供町の水質浄化センター。水質試験体験やスタンプラリーなどのイベントも行います。

日時= 6月19日(日)午前9時30分~午後3時30分

問い合わせは 下水道施設課 ☎221-7524

## 「楽しもう まえばしの夏・節電宣言 ~ECOプロジェクト・プラス」で削減目標達成へ

- 照明の本数を5,100本から1,100本に減らし、LED照明へ切り替えます。
- 冷房の運転時間を短縮し、設定温度も調節します。
- 電力使用量のピーク時(午後1時から3時まで)の行事や会議などを廃止します。
- 施設の窓に遮熱遮光フィルムを付けます。
- 市の全施設でグリーンカーテンを実施します。
- クールビズを拡大・徹底します。
- 施設稼働時間の短縮や電力使用量のピーク時以外の時間帯で設備の運転を行います。

以上の取り組みで、市の全施設での電力使用量を16%削減、市庁舎は25%削減します。